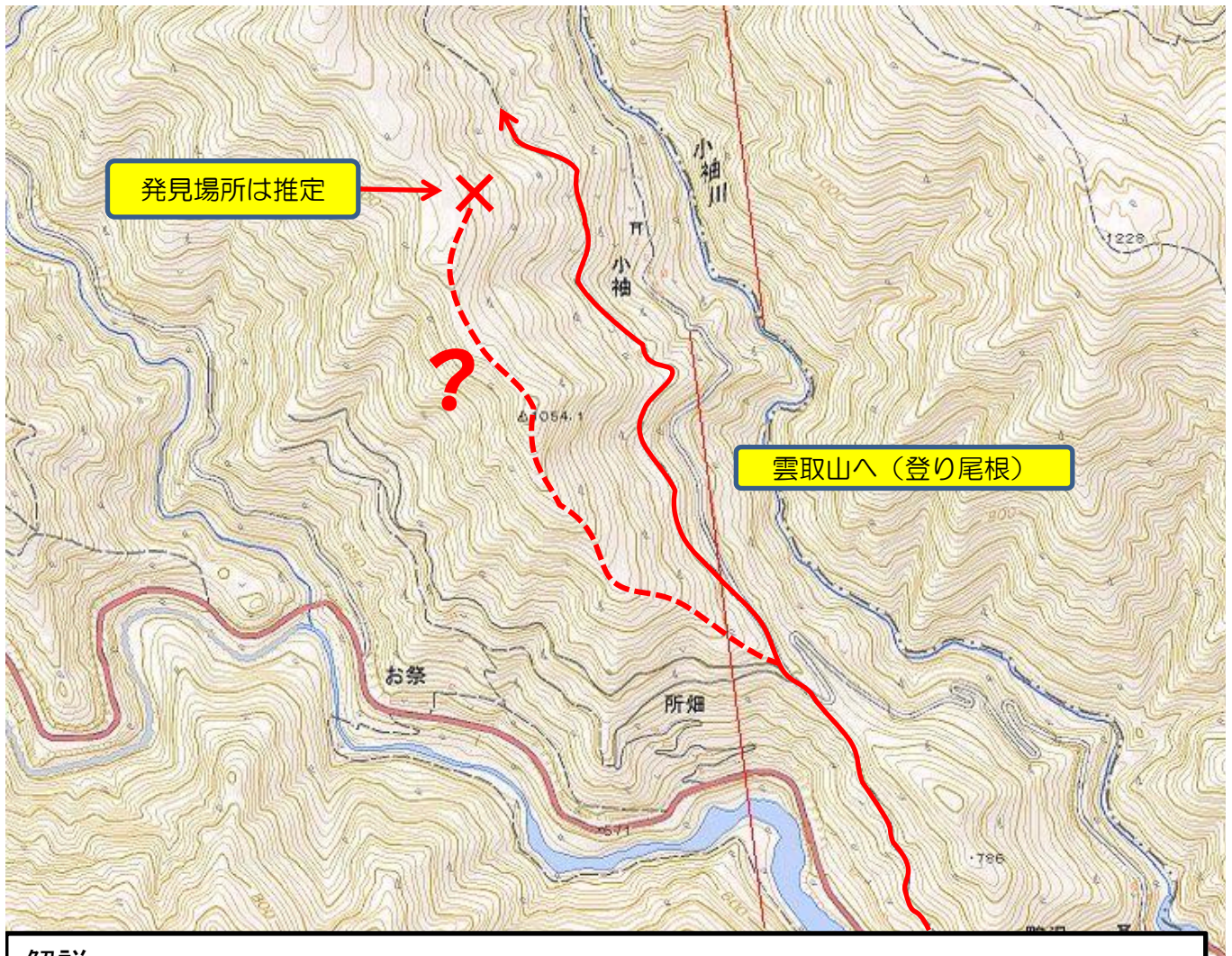


登り尾根道迷い(2010年9月)

山ガール二人の道迷い。夕方から雲取山へご来光を見るため登山。登山口が分からず踏み跡を登ったが、その踏み跡も分からなくなり救助を求めた。



解説

山ガールの二人は、2年ほど前から登山を始めたが、この夏、人気の富士山に行った。五合目を夜に立って、夜明け前に富士山頂二つき、ご来光を仰ぎ、二人はすっかり感動し山にはまった。そこで今度は東京で一番高い雲取山でご来光を見ようと計画。富士山を登れたのだから、2,017mの雲取山はチョロイものだったと思ったという。

午後5時にバスを降り、登山道へ向かう。初心者が御来光を拝むため、暗闇の登山道を歩くが登山口もよくわからない。本ルートはトラバースをしているが、そのまま気づかず尾根を登ってしまう。獣道さえ無くなり、最後は、携帯電話で警察署に電話を掛け救助を求めた。

暗闇の中では、現在位置確認ができないことが多い。私は、暗闇を歩くときは、スマホの地図アプリ「ジオグラフィカ」を愛用させていただいている。現在位置が特定できれば、コンパスで方向を定め、安心して歩ける。

今回の事例は、暗闇を初心者が歩くという点について、警鐘を鳴らしたい。何度か歩いていても昼と夜とは全く違う世界。そう思っていたきたい。